

令和 7 年度会務報告

全国都道府県議会議長会

会 議 及 び 運 動 等

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
1	令和 7 . 4 . 15	富原会長職務代理者、「自由民主党総務部会・地方行政調査会・地方議会の課題に関するPT合同会議」三議長会ヒアリングに出席 東京・自由民主党本部で開催され、本会からは富原亮会長職務代理者（北海道議会議長）が出席した。 合同会議は、地方議会の課題について、三議長会からヒアリングを行うため開催された。 富原会長職務代理者からは、女性や若手、勤労者など多様な人材の議会への参画を進める取組として、三議長会で国民運動として取り組んでいる主権者教育の推進、地域の経済団体に対する立候補に伴う休暇制度の創設や議員との副業・兼業を認めることの働きかけについて報告するとともに、厚生年金への地方議会議員の加入について地方議会の課題に関するPTで早急な検討を行うよう要請した。 質疑応答の後、島尻安伊子総務部会長から、「多くの出席議員から意見があった地方議員のなり手不足の解消に向けた処遇のあり方は、議論すべき課題だと受け止めた。総務部会としては、石田真敏座長の『地方議会の課題に関するPT』において、地方議員の処遇についての検討を進めていきたい」旨の発言があった。
2	7 . 4 . 17	富原会長職務代理者、自由民主党選挙制度調査会「立候補年齢引き下げ実現PT」三議長会ヒアリングに出席 東京・自由民主党本部で開催され、本会からは富原亮会長職務代理者（北海道議会議長）が出席した。 本会からは、①都道府県議会議員の現状、②ヒアリング出席に当たり実施した被選挙権年齢の引き下げに関する都道府県議会議長へのアンケート結果、③都道府県議会における関連する意見書の可決状況に関する資料及び三議長会で作成した若年層向けの「主権者教育用リーフレット」を提出した。 富原会長職務代理者は資料について説明するとともに、以下のとおり発言した。

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		＜主な発言内容＞ ・被選挙権年齢の引き下げについては、都道府県議会議長へのアンケート結果を見ても賛否両論があり、どちらともいえないとの意見も多く、被選挙権年齢について様々な意見や考えがある中で、本会として意見集約を行うことは、現時点では、難しいと感じている。 ・若者に政治に興味や関心を持ってもらい、立候補してもらうためには、「被選挙権年齢の引き下げ」は地方議会を活性化し、将来にわたってその役割を果たしていくための一つの大きな要素であるとするが、今後、「年齢の引き下げ」を行う場合には、地域住民の理解促進はもとより、供託金制度をはじめ、厚生年金への地方議会議員の加入など、地方議会・議員を取り巻く環境整備と一体で議論していくことが重要と考える。 ・また、私ども三議長会としても、被選挙権年齢の引き下げに向けた環境を整えるためにも、引き続き、学生などに政治について知っていただく主権者教育の取組等を推進し、若者の政治参加の促進を図っていきたいと考えている。 ・立候補年齢引き下げ実現PTの皆様におかれては、被選挙権年齢の引き下げとともに、地方議会議員の処遇改善についても御理解、御協力賜るようお願い申し上げます。 また、最後に中曽根康隆PT座長から以下の旨の発言があり、閉会した。 ・地方議員選挙の無投票や定員割れが増えていくので、何とかしないといけないと思っている。当然、厚生年金への加入もそうであるし地方議員の処遇改善もセットで議論していかなければならないと思うが、このPTでは、どうすれば若者が立候補するかという観点から深掘りしていきたい。 ・仮に被選挙権年齢を引き下げるとしても、まずは身近な地方議会からではないかと考えている。 ・このため、このヒアリングを契機として都道府県議会、市町村議会においても、いま一度、議論していただけるとありがたい。

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
3	7. 4. 22	各都道府県議会議長、令和7年春の園遊会に出席 東京・赤坂御苑において、天皇皇后両陛下主催により催され、本会からは議長6名が出席した。 なお、園遊会には、石破茂内閣総理大臣、地方公共団体代表、各界の功績者など約1,400名が出席した。
4	7. 5. 26	役員会 東京・都道府県会館において、対面参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式で開催した。 会議では、6月2日に開催する臨時総会の日程を協議した。また、臨時総会において、7月23日に開催する第181回定例総会に先立ち新会長を選任することから、会長の選任方法についても協議し、決定した。 その後、男女共同参画委員会（仮称）と女性議員研究交流大会（仮称）、厚生年金への地方議会議員の加入、自由民主党選挙制度調査会「立候補年齢引き下げ実現PT」について、事務局から報告し、閉会した。
5	7. 5. 26	富原会長職務代理者、明るい選挙参院選全国フォーラムに出席 東京・ホテルルポール麹町において開催され、本会からは富原亮会長職務代理者（北海道議会議長）が来賓として出席し、あいさつを述べた。
6	7. 5. 27	富原会長職務代理者、「国と地方の協議の場（令和7年度第1回）」に出席 東京・総理大臣官邸で開催され、本会からは富原亮会長職務代理者（北海道議会議長）が出席した。 会議では、「骨太の方針の策定等」「地方創生2.0」について関係閣僚と協議し、富原会長職務代

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		理者からは、①人口減少に打ち勝つ新たな地方創生の推進、②米国の関税措置への対応、③主権者教育の推進、④厚生年金への地方議会議員の加入、⑤選挙区制を採る都道府県議会における人口の少ない地域の議員定数の確保策について発言した。 <政府出席者> 石破 茂 内閣総理大臣 林 芳正 内閣官房長官 村上 誠一郎 総務大臣 伊東 良孝 内閣府特命担当大臣（地方創生）兼 新しい地方経済・生活環境創生担当大臣 斎藤 洋明 財務副大臣 赤澤 亮正 経済再生担当大臣兼 新しい資本主義担当大臣兼 内閣府特命担当大臣（経済財政政策） あべ 俊子 文部科学大臣 小泉 進次郎 農林水産大臣 中野 洋昌 国土交通大臣
7	7. 6. 2	臨時総会 東京・都道府県会館において、対面参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式で開催した。総会では、はじめに富原亮会長職務代理者（北海道議会議長）があいさつを述べた。 議事では、会長の選任について、事前に開催した役員選考委員会の選考の経過と結果について瀧田敏幸委員長（千葉県議会議長）から報告して諮り、藏内勇夫会長（福岡県議会議長）を選任した。その後、藏内新会長が、就任あいさつを行った。 引き続き事務局から、男女共同参画委員会（仮称）と女性議員研究交流大会（仮称）、厚生年金への地方議会議員の加入、自由民主党選挙制度調査会「立候補年齢引き下げ実現PT」について報告し、

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		閉会した。
8	7. 6. 2	藏内会長、就任記者会見を実施 東京・都道府県会館において、臨時総会において新たに選任された藏内勇夫会長（福岡県議会議長）が記者会見を実施した。
9	7. 6. 2	藏内会長、気象業務150周年記念式典に参列 東京・パレスホテル東京において挙行され、本会からは藏内勇夫会長（福岡県議会議長）が参列した。 なお、式典には、天皇陛下御臨席の下、石破茂内閣総理大臣、衆参両院の議長などが参列した。
10	7. 6. 23	藏内会長、戦後80年沖縄全戦没者追悼式に参列 沖縄・平和祈念公園において、沖縄県及び沖縄県議会主催により執り行われ、本会からは、藏内勇夫会長（福岡県議会議長）が参列し、献花を行った。 なお、追悼式には、戦没者遺族、玉城デニー沖縄県知事、中川京貴沖縄県議会議長をはじめとする県及び県議会関係者のほか、石破茂内閣総理大臣、衆参両院の議長など、約4,000名が参列した。
11	7. 6. 24	藏内会長、地方創生に関する地方六団体との意見交換会に出席 東京・中央合同庁舎8号館において開催され、本会からは藏内勇夫会長（福岡県議会議長）が出席した。 会合では、内閣官房から、「地方創生2.0基本構想」（6月13日閣議決定）について説明の後、意見交換が行われた。

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		蔵内会長からは、①本会が1月に決定した「人口減少に打ち勝つ新たな地方創生の推進に関する決議」の基本構想への反映について御礼を述べるとともに、②国全体の人口規模、出生数等も含めた数値目標、期限の明示、③人や企業の地方分散に関する取組（地方への支援に加えて、国自らが政府関係機関、大学、企業の地方移転を促進すること）、④郷土愛を育む取組、結婚やこどもを持つことのポジティブな情報発信、⑤広域リージョン連携（都道府県域を超えた連携の先行的な事例を踏まえた取組の推進）について要請した。 また、翌日、自由民主党新地方創生本部（本部長：山口俊一衆議院議員）の自見はなこ事務局長から、地方六団体に対して、同本部が5月20日に取りまとめた提言の基本構想への反映状況などについて説明があった。 <政府出席者> 伊東 良孝 内閣府特命担当大臣（地方創生）兼 新しい地方経済・生活環境創生担当
12	7. 7. 16	役員会 東京・都道府県会館において、対面参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式で開催した。会議では、7月23日に開催する第181回定例総会に提出する決議案、地方で開催する定例総会における懇談会の負担金を決定したほか、定例総会の日程を確認した。また、令和6年度会計監査報告を、依田明善監事（長野県議会議長）が監事を代表し行った。 その後、男女共同参画委員会と女性議員研究交流大会、都道府県議会選挙区制度研究会について、事務局から報告し、閉会した。
13	7. 7. 16	各委員会 東京・都道府県会館において、対面参加とオンラインを併用するハイブリッド方式で開催した。

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		会議では、関係府省から説明を聴くとともに、「令和８年度政府予算編成及び施策に関する提言案」を審査した。 地方自治委員会 ＜説明内容＞ 地方創生2.0基本構想について ＜説明者＞ 北尾 昌也 内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局審議官 社会文教委員会 ＜説明内容＞ 高校教育をめぐる現状と課題について ＜説明者＞ 橋田 裕 文部科学省初等中等教育局参事官（高等学校担当） 経済産業環境委員会 ＜説明内容＞ 中小企業・小規模事業者の現況と支援策 ＜説明者＞ 黒田 浩司 中小企業庁長官官房総務課長 国土交通委員会 ＜説明内容＞ 持続可能な観光地域づくりに関する施策について ＜説明者＞ 長崎 敏志 観光庁観光地域振興部長

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		農林水産委員会 ＜説明内容＞ 水田政策について ＜説明者＞ 山口 潤一郎 農林水産省農産局農産政策部長
14	7. 7. 23	第181回定例総会 東京・都道府県会館において、対面参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式で開催した。 総会では、藏内勇夫会長（福岡県議会議長）のあいさつに続き、来賓の富樫博之総務副大臣があいさつを行い、事務局が石破茂内閣総理大臣のメッセージを披露した。 続いて議事に入り、令和6年度決算について、事務局が令和6年度会務及び会計報告の説明、依田明善監事（長野県議会議長）が会計監査報告を行った後、認定した。 次に、役員会提出の「人口減少に打ち勝つ新たな地方創生の推進に関する決議」、「地域経済の持続的な成長の実現に関する決議」、「地方税財源の充実確保に関する決議」、「防災・減災対策、国土強靱化の充実強化に関する決議」、「地方議会に関する地方自治法改正を踏まえた多様な人材が参画するための環境整備等に関する決議」、「東京電力福島第一原子力発電所事故対策に関する決議」を原案のとおり決定するとともに、各委員会の委員長による報告の後、「令和8年度政府予算編成及び施策に関する提言」を原案のとおり決定した。 なお、決議及び提言に係る審議では、金城克典大阪府議会議長から、「地方議会に関する地方自治法改正を踏まえた多様な人材が参画するための環境整備等に関する決議」の厚生年金への地方議会議員の加入に関する部分、地方自治委員会提出の提言に含まれる厚生年金への地方議会議員の加入に関する部分に反対する旨の発言があった。

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容																								
		その後、役員等の選任では、総会前に開催した役員選考委員会の選考の経過と結果について小原尚委員長（岐阜県議会議長）から報告して諮り、蔵内会長と副会長を選任するとともに、理事、監事、各委員会の正副委員長について、各ブロック又は組合せブロックにおいて互選した結果を事務局から報告して諮り、決定した。 以上で議事が終了し、次期定例総会（10月30日）の開催地である神奈川県議会の長田進治議長が歓迎のあいさつを述べた。 また、「男女共同参画委員会」、「女性議員研究交流大会」及び「都道府県議会選挙区制度研究会」について事務局から報告した。 その後、蔵内会長は、男女共同参画委員会の委員に対し、女性や若者などが立候補しやすく、働きやすい議会とするため、活発な議論を依頼した。 最後に、国立健康危機管理研究機構の武井貞治理事及び前田健国立感染症研究所獣医科学部長から、「ワンヘルスの推進について」と題する講演を聴取し、閉会した。 全国都道府県議会議長会役員（敬称略） <table><tr><td>会長</td><td>福岡県議会議長</td><td>蔵 内 勇 夫</td></tr><tr><td>副会長</td><td>北海道議会議長</td><td>伊 藤 条 一</td></tr><tr><td>副会長</td><td>宮城県議会議長</td><td>高 橋 伸 二</td></tr><tr><td>副会長</td><td>群馬県議会議長</td><td>井 下 泰 伸</td></tr><tr><td>副会長</td><td>静岡県議会議長</td><td>竹 内 良 訓</td></tr><tr><td>副会長</td><td>京都府議会議長</td><td>荒 卷 隆 三</td></tr><tr><td>副会長</td><td>鳥取県議会議長</td><td>福 田 俊 史</td></tr><tr><td>副会長</td><td>愛媛県議会議長</td><td>福 羅 浩 一</td></tr></table>	会長	福岡県議会議長	蔵 内 勇 夫	副会長	北海道議会議長	伊 藤 条 一	副会長	宮城県議会議長	高 橋 伸 二	副会長	群馬県議会議長	井 下 泰 伸	副会長	静岡県議会議長	竹 内 良 訓	副会長	京都府議会議長	荒 卷 隆 三	副会長	鳥取県議会議長	福 田 俊 史	副会長	愛媛県議会議長	福 羅 浩 一
会長	福岡県議会議長	蔵 内 勇 夫																								
副会長	北海道議会議長	伊 藤 条 一																								
副会長	宮城県議会議長	高 橋 伸 二																								
副会長	群馬県議会議長	井 下 泰 伸																								
副会長	静岡県議会議長	竹 内 良 訓																								
副会長	京都府議会議長	荒 卷 隆 三																								
副会長	鳥取県議会議長	福 田 俊 史																								
副会長	愛媛県議会議長	福 羅 浩 一																								

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容				
			副会長	大分県議会議長	嶋 幸 一	
			理事	秋田県議会議長	工 藤 嘉 範	
			理事	茨城県議会議長	西 野 一	
			理事	石川県議会議長	安 居 知 世	
			理事	奈良県議会議長	田 中 惟 允	
			理事	島根県議会議長	池 田 一	
			理事	高知県議会議長	三 石 文 隆	
			理事	沖縄県議会議長	中 川 京 貴	
			監事	山形県議会議長	田 澤 伸 一	
			監事	福井県議会議長	宮 本 俊	
			監事	徳島県議会議長	須 見 一 仁	
			全国都道府県議会議長会各委員会正副委員長（敬称略）			
			地方自治委員会	委員長	山口県議会議長	柳 居 俊 学
	副委員長	福島県議会議長	西 山 尚 利			
	副委員長	栃木県議会議長	池 田 忠			
	副委員長	滋賀県議会議長	目 片 信 悟			
社会文教委員会	委員長	兵庫県議会議長	山 口 晋 平			
	副委員長	埼玉県議会議長	白 土 幸 仁			
	副委員長	鹿児島県議会議長	日 高 滋			
経済産業環境委員会	委員長	岩手県議会議長	工 藤 大 輔			
	副委員長	岐阜県議会議長	小 原 尚			

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容					
				副委員長	広島県議会議長	中 本 隆 志	
		国土交通委員会		委員長	長野県議会議長	依 田 明 善	
				副委員長	愛知県議会議長	川 嶋 太 郎	
				副委員長	和歌山県議会議長	岩 田 弘 彦	
				副委員長	岡山県議会議長	遠 藤 康 洋	
		農林水産委員会		委員長	三重県議会議長	服 部 富 男	
				副委員長	青森県議会議長	工 藤 慎 康	
				副委員長	香川県議会議長	谷 久 浩 一	
				副委員長	佐賀県議会議長	宮 原 真 一	
15	7. 7. 24	内閣総理大臣主催による都道府県議会議長との懇談会に出席 東京・総理大臣官邸において、石破茂内閣総理大臣主催により開催された。 本会からは、藏内勇夫会長（福岡県議会議長）をはじめ正副議長44名が出席し、石破内閣総理大臣、村上誠一郎総務大臣、林芳正内閣官房長官などと意見交換を行った。 冒頭、石破内閣総理大臣から、米国関税への対応、防災対策、地方創生などの様々な課題に直面しているが、その状況や影響を見定めつつ、地方の声も丁寧に聞きながら、一つ一つの課題に必要な対応を行っていく旨の発言があった。 続いて、藏内会長から、若者や女性に選ばれる地域をつくる地方創生、主権者教育、厚生年金への地方議会議員の加入の実現などの多様な人材が地方議員に立候補しやすい環境整備及びワンヘルスの取組を推進していく旨発言した。 その後、各ブロックを代表し7名の議長が発言した後、石破内閣総理大臣が返答した。					

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		<発言議長・テーマ> 北海道東北ブロック 工藤 大輔 岩手県議会議長 「地域医療を担う医師の確保及び医療機関の経営安定化支援について」 関東ブロック 井下 泰伸 群馬県議会議長 「地方のデジタル人材育成への支援について」 東海北陸ブロック 竹内 良訓 静岡県議会議長 「闇バイトによる犯罪の防止に向けた取組のさらなる強化について」 近畿ブロック 荒巻 隆三 京都府議会議長 「地域経済の維持・発展に向けた持続的な観光振興について」 中国ブロック 福田 俊史 鳥取県議会議長 「産業力強化や交流の拡大等に向けた基盤整備について」 四国ブロック 福羅 浩一 愛媛県議会議長 「震災対策について」 九州ブロック 中川 京貴 沖縄県議会議長 「米軍基地対策等について」
16	7. 7. 24	役員会及び各委員会、令和8年度政府予算編成及び施策に関する決議・提言に係る要請活動を実施 役員会 <要請先>（順不同） 自由民主党 森山 裕 幹事長 石田 真敏 総務部会地方議会の課題に関するPT座長

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		元宿 仁 事務総長 公明党 岡本 三成 政務調査会長 中川 康洋 総務部会長 佐藤 英道 衆議院議員 下野 六太 参議院議員 福重 隆浩 衆議院議員 <参加者> 藏内 勇夫 会長（福岡県議会議員） 伊藤 条一 副会長（北海道議会議員） 井下 泰伸 副会長（群馬県議会議員） 竹内 良訓 副会長（静岡県議会議員） 荒巻 隆三 副会長（京都府議会議員） 福田 俊史 副会長（鳥取県議会議員） 福羅 浩一 副会長（愛媛県議会議員） <要請事項> 人口減少に打ち勝つ新たな地方創生の推進、地方議会に関する地方自治法改正を踏まえた多様な人材が参画するための環境整備（厚生年金への地方議会議員の加入の実現等）等 地方自治委員会 <要請先>（順不同） 総務省 富樫 博之 総務副大臣

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		自由民主党 自見 はなこ 新地方創生本部事務局長 内閣官房 海老原 諭 新しい地方経済・生活環境創生本部事務局長 <参加者> 柳居 俊学 委員長（山口県議会議長） 琴寄 昌男 栃木県議会副議長 加藤 誠一 滋賀県議会副議長 <要請事項> 主権者教育の推進、多様な人材が議会に参画するための環境整備（厚生年金への地方議員の加入等）、地方拠点強化税制の拡充、国自ら政府関係機関の地方移転の検討を行うこと等 社会文教委員会 <要請先>（順不同） 文部科学省 金城 泰邦 文部科学大臣政務官 こども家庭庁 渡辺 由美子 こども家庭庁長官 清原 慶子 こども家庭庁参与 厚生労働省 伊原 和人 厚生労働事務次官 <参加者> 山口 晋平 委員長（兵庫県議会議長）

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		白土 幸仁 副委員長（埼玉県議会議長） 日高 滋 副委員長（鹿児島県議会議長） ※ 金城文部科学大臣政務官への要請は、藏内会長（福岡県議会議長）も参加 ＜要請事項＞ 学習指導要領への主権者教育の明記、少子化対策の強化、地域医療提供体制の強化、ワンヘルスの理念に基づく人と動物共通の新たな感染症への対策の強化等 経済産業環境委員会 ＜要請先＞（順不同） 経済産業省 大串 正樹 経済産業副大臣 自由民主党 新谷 正義 経済産業部会長 ＜参加者＞ 工藤 大輔 委員長（岩手県議会議長） 小原 尚 副委員長（岐阜県議会議長） 山下 智之 広島県議会副議長 ＜要請事項＞ 地域経済の持続的な成長の実現、企業の地方移転と雇用創出の推進等 国土交通委員会 ＜要請先＞（順不同） 内閣府 坂井 学 国土強靱化担当大臣

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		自由民主党 江島 潔 国土交通部会長代理 <参加者> 依田 明善 委員長（長野県議会議長） 川嶋 太郎 副委員長（愛知県議会議長） 岩田 弘彦 副委員長（和歌山県議会議長） 遠藤 康洋 副委員長（岡山県議会議長） <要請事項> 防災・減災対策、国土強靱化の充実強化、観光の更なる活性化の推進、鉄道の整備促進及び地域鉄道の確保・維持等 農林水産委員会 <要請先>（順不同） 農林水産省 山本 佐知子 農林水産大臣政務官 自由民主党 鈴木 貴子 水産部会長 <参加者> 服部 富男 委員長（三重県議会議長） 工藤 慎康 副委員長（青森県議会議長） 谷久 浩一 副委員長（香川県議会議長） 宮原 真一 副委員長（佐賀県議会議長） <要請事項>

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		米の円滑な流通の確保、生産者が経営を持続することができるような需給及び価格の安定対策、地域の実情に応じた水田政策の見直し、ALPS処理水放出に伴う一部の国・地域による日本産水産物の輸入規制等の撤廃に向けた働きかけ、水産基盤整備の計画的かつ着実な推進等
17	7. 8. 26	第 1 回男女共同参画委員会 東京・都道府県会館において、対面参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式で開催した。本委員会は、各議会における男女共同参画の取組や課題について意見交換を行い、藏内勇夫会長（福岡県議会議長）へ報告・提言を行うことを目的としている。委員は、安居知世委員長（石川県議会議長）をはじめ正副議長経験のある女性議員及び若手男性議長の10名で構成されている。 第1回目の今回は、藏内会長と安居委員長があいさつを述べ、「女性・若者が立候補しやすい方策」及び「女性・若手議員が働きやすい議会とする方策」をテーマに、各委員が意見開陳及び意見交換を行った。 意見交換を行った内容のうち、標準都道府県議会会議規則に規定する議員の出産のための欠席届を産前6週間から8週間に見直すことについては、当日出席した委員全員が賛同した。 <男女共同参画委員> 委員長 安居 知世 石川県議会議長 委員 工藤 大輔 岩手県議会議長 岡田 静佳 埼玉県議会議員 （元副議長） 渡辺 淳也 山梨県議会議長 神戸 洋美 愛知県議会議員 （元議長）

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		杉本 熊野 三重県議会議員 (元副議長) 奥野 詠子 富山県議会議員 (元副議長) 森 礼子 和歌山県議会議員 (元議長) 岡田 理絵 徳島県議会議員 (元議長) 高野 洋介 熊本県議会議員
18	7. 8. 26	女性議員研究交流大会 東京・ホテルルポール麹町において、対面参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式で開催した。 開会冒頭、藏内勇夫会長（福岡県議会議員）が主催者を代表してあいさつを述べた後、安居知世男女共同参画委員会委員長（石川県議会議員）が同委員会の経過について報告した。 続いて、野田聖子衆議院議員による基調講演の後、各界で活躍する女性による鼎談を行った。 <基調講演> 野田 聖子 衆議院議員 <各界で活躍する女性による鼎談> これまでのキャリア形成、指導的地位に占める女性の割合増加に向けてをテーマに鼎談 工藤 禎子 (一般社団法人) 日本経済団体連合会ダイバーシティ推進委員会企画部会長 三井住友銀行 代表取締役兼 副頭取執行役員 岡田 恵子 内閣府男女共同参画局長 谷口 尚子 慶應義塾大学法学部政治学科教授
19	7. 8. 27	荒巻副会長、「いわゆる『ガソリンの暫定税率』廃止に関する緊急提言」の地方六団体要請活動に参

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		加 本会の荒巻隆三副会長（京都府議会議長）を始め、地方六団体の各代表は、「いわゆる『ガソリンの暫定税率』廃止に関する緊急提言」について与野党協議のメンバー等に対する要請活動を実施し、安定的な行政サービスの提供を担う地方への影響等を十分に考慮し、財源論なき減税が行われることがないよう、地方の減収に対しては代替となる恒久財源を措置するなど、安定的な財源を確保することを前提に、責任ある議論を丁寧に進めるよう求めた。 <要請先>（順不同） 自由民主党 森山 裕 幹事長 宮沢 洋一 税制調査会長 後藤 茂之 税制調査会小委員長 公明党 西田 実仁 幹事長（税制調査会顧問） 赤羽 一嘉 税制調査会長 <参加者> 村井 嘉浩 全国知事会会長（宮城県知事） 荒巻 隆三 全国都道府県議会議長会副会長（京都府議会議長） 伊木 隆司 全国市長会副会長（鳥取県米子市長） 松井 正志 全国市議会議長会地方財政委員長（兵庫県豊岡市議会議長） 棚野 孝夫 全国町村会会長（北海道白糠町長） 中本 正廣 全国町村議会議長会会長（広島県安芸太田町議会議長）

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
20	7. 8. 27	藏内会長、自由民主党総務部会関係合同会議に出席 東京・自由民主党本部で開催され、本会の藏内勇夫会長（福岡県議会議長）を始め、地方六団体の各代表が出席した。 本会からは、第181回定例総会で決定した「令和8年度政府予算編成及び施策に関する決議・提言」を提出するとともに、地方六団体からは「いわゆる『ガソリンの暫定税率』廃止に関する緊急提言」、「自由民主党総務部会関係合同会議主要要望項目」を提出し、代表して村井嘉浩全国知事会会長（宮城県知事）より、地方一般財源総額の確保・充実、人口減少対策及び地方創生の強力な推進、防災、減災対策の推進と強靱な国土づくり、地方税財源の確保・充実等について要望した。 そのうち、いわゆる「ガソリンの暫定税率」廃止については、安定的な行政サービスの提供を担う地方への影響等を十分に考慮し、財源論なき減税が行われることがないよう、地方の減収に対しては代替となる恒久財源を措置するなど、安定的な財源を確保することを前提に、責任ある議論を丁寧に進めるよう求めた。
21	7. 9. 3－4	竹内副会長、「いわゆる『ガソリンの暫定税率』廃止に関する緊急提言」の地方六団体要請活動に参加 本会の竹内良訓副会長（静岡県議会議長）を始め、地方六団体の各代表は、「いわゆる『ガソリンの暫定税率』廃止に関する緊急提言」について与野党協議のメンバー等に対する要請活動を実施し、安定的な行政サービスの提供を担う地方への影響等を十分に考慮し、財源論なき減税が行われることがないよう、地方の減収に対しては代替となる恒久財源を措置するなど、安定的な財源を確保することを前提に、責任ある議論を丁寧に進めていただくよう求めた。 <要請先>（順不同） 立憲民主党

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		重徳 和彦 政務調査会長 日本維新の会 斎藤 アレックス 政務調査会長 国民民主党 浜口 誠 政務調査会長 日本共産党 山添 拓 政策委員長 辰巳 孝太郎 衆議院国会対策副委員長 ＜参加者＞ 阿部 守一 全国知事会会長（長野県知事） 竹内 良訓 全国都道府県議会議長会副会長（静岡県議会議長） 吉田 信解 全国市長会副会長（埼玉県本庄市長） 丸子 善弘 全国市議会議長会会長（山形県山形市議会議長） 岩田 利雄 全国町村会副会長（千葉県東庄町長） 中本 正廣 全国町村議会議長会会長（広島県安芸太田町議会議長）
22	7. 9. 18	大韓民国市郡自治区議会議長協議会との交流会を開催 東京・都道府県会館において開催され、本会からは藏内勇夫会長（福岡県議会議長）が出席した。会合では、藏内会長が歓迎のあいさつを述べた後、金賢基大韓民国市郡自治区議会議長協議会会長（忠清北道清州市議会議長）があいさつを述べた。 その後、本会事務局から、本会の意思決定の方法や、中央政府との交渉などについて説明が行われ、日韓両国の地方制度等について活発な意見交換が行われた。

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		＜出席者＞（順不同） 金 賢基 会長 （忠清北道清州市議会議長） 趙 東倬 副会長 （ソウル特別市江東区議会議長） 李 義明 副会長 （仁川広域市甕津郡議会議長） 金 明洙 副会長 （光州広域市光山区議会議長） 吳 官泳 副会長 （大田広域市東区議会議長） 崔 吉榮 副会長 （蔚山広域市蔚州郡議会議長） 金 承豪 副会長 （京畿道東豆川市議会議長） 金 敬濟 副会長 （忠清南道舒川郡議会議長） 李 尙周 首席副会長 （全羅南道新安郡議会議長） 李 東協 代弁人 （慶尚北道慶州市議会議長） 許 洪 副会長 （慶尚南道密陽市議会議長）
23	7.10.3	令和7年度市区町村長、都道府県議会議長及び市区町村議会議長総務大臣表彰式 東京・全国町村会館において、総務省主催により挙行され、藏内勇夫会長（福岡県議会議長）が来賓として出席し、祝辞を述べた。 市区町村長として通算20年以上、あるいは地方議会議長として通算12年以上在職し、地方自治の発展に功労があったと認められる者に対し、総務大臣から表彰されるもので、令和7年度は31名（うち都道府県議会議長1名）が表彰され、柳居俊学山口県議会議長が表彰された。 式典では、冨樫博之総務副大臣が式辞を述べた後、冨樫副大臣から、市長、町村長、都道府県議会議長、町村議会議長の代表者に表彰状が授与された。
24	7.10.21	地方六団体、「新内閣発足に当たっての共同声明」を発表

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		本会など地方六団体は、高市新内閣が発足されたことを受け、「新内閣発足に当たっての共同声明」を発表した。
25	7.10.23	各委員会 東京・都道府県会館において、対面参加とオンラインを併用するハイブリッド方式で開催した。 会議では、関係府省から説明を聴くとともに、「令和8年度政府予算編成に関する提言案」を審査した。 地方自治委員会 ＜説明内容＞ 総務省重点施策2026について ＜説明者＞ 田中 聖也 総務省大臣官房総括審議官 社会文教委員会 ＜説明内容＞ 医師の確保、偏在是正対策について ＜説明者＞ 西嶋 康浩 厚生労働省医政局地域医療計画課長 経済産業環境委員会 ＜説明内容＞ 更なる賃上げに向けた中小企業・小規模事業者の収益性を高める施策について ＜説明者＞ 栗島 宜郎 中小企業庁事業環境部企画課課長補佐

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		国土交通委員会 ＜説明内容＞ 国土強靱化に関する最近の動向について ＜説明者＞ 山本 巧 内閣官房国土強靱化推進室次長 農林水産委員会 ＜説明内容＞ 農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略に基づく取組について ＜説明者＞ 三野 敏克 農林水産省大臣官房輸出促進審議官
26	7.10.23	役員会 東京・都道府県会館において、対面参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式で開催した。 会議では、10月30日に神奈川県で開催する第182回定例総会の開催ブロックの理事である西野一茨城県議会議長が歓迎のあいさつを述べた。 続いて、自治功労者の表彰、第182回定例総会の提出議案、令和8年度予算大綱案、議会運営等問題協議会の開催等について協議した。 自治功労者の表彰については、各都道府県議会から推薦された議員363名を10月30日付けで永年勤続功労者として表彰することを決定した。 また、令和8年度予算大綱の決定を受け、1月21日に開催する第183回定例総会での本会予算の協議に向けて予算編成作業を行うこととなった。 その後、三議長会による主権者教育の推進を求める要請、三議長会による厚生年金への地方議会議

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		員の加入を求める要請、第25回都道府県議会議員研究交流大会、総務省「地方議会活性化シンポジウム2025」について事務局から報告し、閉会した。
27	7.10.28	藏内会長、第26回全国女性消防操法大会に出席 神奈川・横浜赤レンガ倉庫イベント広場において、消防庁及び（公財）日本消防協会主催により開催され、本会からは藏内勇夫会長（福岡県議会議員）が来賓として出席した。 なお、大会には、高橋克法総務副大臣、秋本敏文日本消防協会会長のほか、長田進治神奈川県議会議員などが出席した。
28	7.10.28	各都道府県議会議員、令和7年秋の園遊会に出席 東京・赤坂御苑において、天皇皇后両陛下主催により催され、本会からは議長6名が出席した。 なお、園遊会には、高市早苗内閣総理大臣、地方公共団体代表、各界の功績者など約1,500名が出席した。
29	7.10.22 23 24 29	三議長会会長等、「厚生年金への地方議会議員の加入を求める決議」について与野党に要請 本会の藏内勇夫会長（福岡県議会議員）など三議長会の会長等が、「厚生年金への地方議会議員の加入を求める決議」について、要請活動を実施した。 <要請先>（順不同） 自由民主党 鈴木 俊一 幹事長 小林 鷹之 政務調査会長 日本維新の会

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		中司 宏 幹事長 斎藤 アレックス 政務調査会長 立憲民主党 安住 淳 幹事長 本庄 知史 政務調査会長 ※ 本庄政務調査会長への要請は、事務局を通じ決議を提出 国民民主党 榛葉 賀津也 幹事長 浜口 誠 政務調査会長 公明党 西田 実仁 幹事長 岡本 三成 政務調査会長 ほか10名の議員が出席 日本共産党 山添 拓 政策委員長 れいわ新選組 高井 崇志 幹事長 <要請者> 藏内 勇夫 全国都道府県議会議長会会長（福岡県議会議長） 丸子 善弘 全国市議会議長会会長（山形市議会議長） ※ 22日は山下節子副会長（山口県宇部市議会議長）が代理出席 中本 正廣 全国町村議会議長会会長（広島県安芸太田町議会議長）

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		※ 22日は松野唱平副会長（千葉県長南町議会議長）、23～24日は杉浦和人副会長（滋賀県日野町議会議長）、29日は渡部孝樹理事（北海道厚真町議会議長）が代理出席
30	7.10.30	第182回定例総会 神奈川・横浜ベイホテル東急において開催した。 総会では、はじめに地元神奈川県長の長田進治議長、藏内勇夫会長（福岡県議会議長）のあいさつの後、黒岩祐治神奈川県知事が歓迎のあいさつを述べた。 続いて、高市早苗内閣総理大臣のメッセージを井下泰伸群馬県議会議長が披露、林芳正総務大臣の祝辞を原邦彰総務事務次官が代読した後、衆参両議院議長の祝電を事務局が披露した。 次に、自治功労者の表彰に移り、筒井タカヤ愛知県議会議員（在職50年）、喜多龍一北海道議会議員（在職30年）など、在職30年以上の永年勤続功労者43名を表彰し、渡辺淳也山梨県議会議長など、在職10年以上から25年以上までの永年勤続功労者319名を表彰した。 その後、新任正副議長の紹介に続いて、長田神奈川県議会議長が総会議長を務め、議事に入り、役員会提出の「人口減少に打ち勝つ新たな地方創生の推進に関する決議」、「地域経済の持続的な成長の実現に関する決議」、「地方税財源の充実確保に関する決議」、「防災・減災対策、国土強靱化の充実強化に関する決議」、「地方議会に関する地方自治法改正を踏まえた多様な人材が参画するための環境整備等に関する決議」、「東京電力福島第一原子力発電所事故対策に関する決議」を決定するとともに、各委員会の委員長による報告の後、「令和8年度政府予算編成に関する提言」を決定した。 なお、決議及び提言に係る審議に際し、金城克典大阪府議会議長から、「地方議会に関する地方自治法改正を踏まえた多様な人材が参画するための環境整備等に関する決議」の厚生年金への地方議会議員の加入に関する部分、地方自治委員会提出の提言に含まれる厚生年金への地方議会議員の加入に関する部分に反対する旨の発言があった。

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		また、明年秋に開催予定の第185回定例総会を九州ブロックの鹿児島県において開催することを決定し、これを受けて、園田豊鹿児島県議会副議長があいさつを述べた。 以上で総会の議事が終了し、その他で、総務省から「地方公共団体の発注における適切な価格転嫁の実現に向けた取組」について説明を聴取し、田澤伸一山形県議会議長がクマの出没に関する対策について発言した。 最後に、長田神奈川県議会議長が開催地としての御礼あいさつを述べ、閉会した。 総会終了後、神奈川県CIO兼 CD0の江口清貴氏より、「防災×デジタルが目指すものー餅は餅屋、酒は酒屋に茶は茶屋にー」と題する講演を聴取した。
31	7.10.31	役員会及び各委員会、令和8年度政府予算編成に関する決議・提言に係る要請活動を実施 役員会 <要請先>（順不同） 総理大臣官邸 木原 稔 内閣官房長官 尾崎 正直 内閣官房副長官 井上 貴博 総理大臣補佐官 自由民主党 鈴木 俊一 幹事長 有村 治子 総務会長 石田 真敏 総務部会地方議会の課題に関するPT座長 坂本 哲志 総務部会地方議会の課題に関するPT顧問 橘 慶一郎 総務部会地方議会の課題に関するPT幹事長

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		長谷川 淳二 総務部会地方議会の課題に関するPT事務局長 ※ 長谷川事務局長への要請は、秘書を通じ要請書を提出 日本維新の会 中司 宏 幹事長 斎藤 アレックス 政務調査会長 公明党 西田 実仁 幹事長 庄子 賢一 総務部会長 輿水 恵一 総務部会副部会長 原田 大二郎 総務部会副部会長 平林 晃 衆議院議員 谷合 正明 参議院議員 福重 隆浩 衆議院議員 <参加者> 藏内 勇夫 会長（福岡県議会議長） 伊藤 条一 副会長（北海道議会議長） 高橋 伸二 副会長（宮城県議会議長） 井下 泰伸 副会長（群馬県議会議長） 竹内 良訓 副会長（静岡県議会議長） 福田 俊史 副会長（鳥取県議会議長） 福羅 浩一 副会長（愛媛県議会議長） 嶋 幸一 副会長（大分県議会議長）

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		<要請事項> 人口減少対策、地域経済の持続的な成長の実現、地方議会に多様な人材が参画するための環境整備（厚生年金への地方議会議員の加入の実現等）、ワンヘルスの推進等 地方自治委員会 <要請先>（順不同） 総務省 林 芳正 総務大臣 内閣府 古川 直季 内閣府大臣政務官 自由民主党 鈴木 英敬 総務部会長 <参加者> 柳居 俊学 委員長（山口県議会議長） 西山 尚利 副委員長（福島県議会議長） 加藤 誠一 滋賀県議会副議長 <要請事項> 主権者教育の推進、多様な人材が議会に参画するための環境整備（厚生年金への地方議員の加入等）、地方拠点強化税制の拡充、広域リージョン連携の推進等 経済産業環境委員会 <要請先>（順不同） 経済産業省 越智 俊之 経済産業大臣政務官

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		環境省 飯田 博文 大臣官房政策立案総括審議官 自由民主党 平沼 正二郎 経済産業部会長代理 神田 潤一 環境部会長代理 <参加者> 城内 愛彦 委員長（岩手県議会議長） <要請事項> 米国関税措置への対応、物価上昇に負けない持続的・構造的な賃上げの促進、再生可能エネルギーの適正な導入拡大、クマ等への対策に向けた支援の強化等 国土交通委員会 <要請先>（順不同） 内閣府 牧野 たかお 国土強靱化担当大臣 自由民主党 国定 勇人 国土交通部会長代理 <参加者> 依田 明善 委員長（長野県議会議長） 岩田 弘彦 副委員長（和歌山県議会議長） 遠藤 康洋 副委員長（岡山県議会議長） 南部 文宏 愛知県議会副議長 <要請事項>

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		防災・減災対策、国土強靱化の充実強化、観光の更なる活性化の推進、鉄道の整備促進及び地域鉄道の確保・維持等 農林水産委員会 <要請先>（順不同） 農林水産省 山下 雄平 農林水産副大臣 自由民主党 野中 厚 農林部会長 <参加者> 服部 富男 委員長（三重県議会議長） 工藤 慎康 副委員長（青森県議会議長） 宮原 真一 副委員長（佐賀県議会議長） <要請事項> 米の生産・流通・消費の適切な実態把握、需給・価格の安定を図るための対策、米国関税措置への対策、地域の実情に配慮した水田政策の見直し等
32	7.11.5	社会文教委員会、令和8年度政府予算編成に関する決議・提言に係る要請活動を実施 <要請先>（順不同） 厚生労働省 伊原 和人 厚生労働事務次官 こども家庭庁 渡辺 由美子 こども家庭庁長官

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		清原 慶子 こども家庭庁参与 文部科学省 矢野 和彦 文部科学審議官 ＜参加者＞ 山口 晋平 委員長（兵庫県議会議長） 白土 幸仁 副委員長（埼玉県議会議長） 日高 滋 副委員長（鹿児島県議会議長） ＜要請事項＞ 少子化対策・子育て支援の抜本的強化、地域医療提供体制の強化、ワンヘルスの理念に基づく人と動物共通の新たな感染症への対策の強化、主権者教育の推進、教育の機会均等と水準の維持向上に向けた取組等
33	7.11.11	第25回都道府県議会議員研究交流大会 東京・ニッショーホールにおいて、対面参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式で行った。 開会冒頭、藏内勇夫会長（福岡県議会議長）が主催者を代表してあいさつを述べた後、基調講演、パネルディスカッションを行った。 パネルディスカッションでは、コーディネイター、パネリストと参加する議員との間で意見交換を行った。 ＜基調講演①＞ 「ワンヘルスの推進について」 前田 健 国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所獣医科学部部長

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		<基調講演②> 「地方創生をめぐる最近の動向」 海老原 諭 内閣官房地域未来戦略本部事務局長 <パネルディスカッション「地方創生の推進と地方議会の役割」> コーディネイター 牧瀬 稔 関東学院大学法学部地域創生学科教授 パネリスト 山本 徹 富山県議会議員・前全国都道府県議会議長会会長 富原 亮 北海道議会議員・前全国都道府県議会議長会副会長 橋本 純次 社会構想大学院大学コミュニケーションデザイン研究科准教授
34	7.11.12	第2回男女共同参画委員会 東京・都道府県会館において、対面出席とオンライン出席を併用するハイブリッド方式で開催した。 会議では、佐藤大吾NP0法人ドットジェイピー理事長が「若者の政治参画を促すために議会ができる取組」と題して、学生へのインターンシップの取組などについて講演した後、「女性・若者が立候補しやすい方策」及び「女性・若手議員が働きやすい議会とする方策」について、前回に引き続き意見交換を行った。
35	7.11.12	福田副会長、自民党「予算・税制等に関する政策懇談会」に出席 東京・自由民主党本部において開催され、本会からは福田俊史副会長（鳥取県議会議長）が出席した。 会議では、令和8年度予算・税制等について、地方六団体等から要望を行うとともに、関係国会議

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		員との意見交換が行われた。 本会からは、10月30日の第182回定例総会で決定した令和8年度政府予算編成に関する決議・提言を提出し、福田副会長からは、①総合経済対策の早期策定、補正予算の早期成立、ガソリン及び軽油の暫定税率廃止の代替財源の確保、②地方一般財源総額の増額確保、③人口減少対策と地方創生の一体的な推進、④地方議会に多様な人材が参画するための環境整備について発言した。
36	7.11.13	安居石川県議会議長、地方議会活性化シンポジウム2025にパネリストとして登壇 東京・KABUTO ONE HALL&CONFERENCEにおいて、総務省主催により対面参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式で開催した（共催：全国都道府県議会議長会、全国市議会議長会、全国町村議会議長会）。 シンポジウムでは、梶原大介総務大臣政務官があいさつを行った後、事例紹介及びパネルディスカッションが行われた。 事例紹介者・パネリストとして、都道府県議会からは、安居知世石川県議会議長（本会・男女共同参画委員長）が登壇し、「地方議会の男女共同参画の推進」と題して、石川県議会における男女共同参画の取組や本会・男女共同参画委員会における委員の意見等を説明した。 対面参加では、都道府県議会では115名（議員90名、職員25名）が参加した。 <テーマ> 誰もが参画できる議会を目指して～これからの議会の姿とは～ コーディネイター 大山 礼子 駒澤大学名誉教授 事例紹介者 天野 早人 前・長野県宮田村議会議長

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		菅原 由和 奥州市議会議員 安居 知世 石川県議会議員（本会・男女共同参画委員長） パネリスト 天野 早人 前・長野県宮田村議会議員 出雲 明子 明治大学専門職大学院ガバナンス研究科専任教授 上村 敏之 関西学院大学経済学部教授 菅原 由和 奥州市議会議員 安居 知世 石川県議会議員（本会・男女共同参画委員長）
37	7.11.14	日高社会文教委員会副委員長、国保制度改善強化全国大会に出席 東京・砂防会館（別館 1 階シェーンバッハ・サボー）において開催され、本会から日高滋社会文教委員会副委員長（鹿児島県議会議員）が出席した。 大会では、大会宣言が行われるとともに、決議が採択された。最後に、日高副委員長が閉会の辞を述べ、閉会した。
38	7.11.14	第 1 回都道府県議会選挙区制度研究会 東京・都道府県会館において開催した。 都市部への人口集中と地方の過疎化が進むと、人口比例原則の下、選挙区制を採用している都道府県議会では、人口が少ない地域でこれまでの選挙区を維持できず、広域的な合区が進み、地域の声が都道府県政に届きづらくなることが懸念される。 この研究会は、過去の都道府県議会議員選挙の定数訴訟などを分析しつつ、選挙区制を維持することを前提として、人口が少ない地域の議員定数を確保するための方策について調査・研究を行うもの

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		である。 第1回研究会では、藏内勇夫会長（福岡県議会議員）があいさつを行うとともに、都道府県議会議員選挙の定数訴訟の判例の枠組みやポイント等について意見交換を行った。 <研究会メンバー> 座長 林 知更 東京大学社会科学研究所教授 委員 新井 誠 広島大学大学院人間社会科学研究科教授 大泉 淳一 一般社団法人選挙制度実務研究会会長（元総務省自治行政局選挙部長） 勢一 智子 西南学院大学法学部法律学科教授 谷口 尚子 慶應義塾大学法学部政治学科教授 西村 裕一 慶應義塾大学大学院法務研究科教授
39	7.11.14	藏内会長、「国と地方の協議の場（令和7年度第2回）」に出席 東京・総理大臣官邸で開催され、本会からは藏内勇夫会長（福岡県議会議員）が出席した。 会議においては、「地域未来戦略及び地方分権改革の推進」、「物価高対策」について関係閣僚と協議し、藏内会長からは、①ガソリンの暫定税率廃止の代替となる恒久財源の確保、②地域未来戦略の推進（広域リージョン連携に関する支援等）、③ワンヘルスの推進、④次期学習指導要領への「学校と議会が連携した主権者教育の推進」の明記、⑤厚生年金への地方議会議員の加入について発言した。 <政府出席者> 高市 早苗 内閣総理大臣

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		木原 稔 内閣官房長官 林 芳正 総務大臣 黄川田 仁志 内閣府特命担当大臣（地方創生）兼 地域未来戦略担当大臣 片山 さつき 財務大臣 小野田 紀美 外国人との秩序ある共生社会推進担当大臣 松本 尚 デジタル大臣 松本 洋平 文部科学大臣 上野 賢一郎 厚生労働大臣 鈴木 憲和 農林水産大臣
40	7.12. 5	福田副会長、地方創生に関する地方六団体との意見交換会に出席 東京・中央合同庁舎 8 号館において開催され、本会からは福田俊史副会長（鳥取県議会議長）が出席した。 会合では、内閣官房及び内閣府から、①地方創生予算の全体像（令和 7 年度補正予算案の概要、令和 8 年度予算概算要求の概要）、②令和 8 年度税制改正要望の概要、③地域未来戦略本部、④重点支援地方交付金の拡充について説明の後、意見交換が行われた。 福田副会長からは、①人口減少対策と地方創生の一体的な推進、②人や企業の地方分散の取組の促進（＜ア＞地域未来交付金の所要額確保、＜イ＞地方創生移住支援事業の拡充、＜ウ＞二地域居住の促進など関係人口の創出に資する、山陰や四国、東九州など新幹線未整備区間と首都圏との航空路線拡大や航空運賃低廉化の支援 等）、③広域リージョン連携に対する支援、④総合戦略策定や今後の人口減少対策における地方の声の反映について要請した。 <政府出席者>

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		黄川田 仁志 内閣府特命担当大臣（地方創生）兼 地域未来戦略担当大臣
41	7.12.10	三議長会会長、「学習指導要領に『学校と議会が連携した主権者教育の推進』について明記を求める決議」について文部科学省に要請 本会の藏内勇夫会長（福岡県議会議員）など三議長会の会長が、「学習指導要領に『学校と議会が連携した主権者教育の推進』について明記を求める決議」について、要請活動を実施した。 <要請先> 文部科学省 福田 かおる 文部科学大臣政務官 <要請者> 藏内 勇夫 全国都道府県議会議員会会長（福岡県議会議員） 丸子 善弘 全国市議会議員会会長（山形市議会議員） 中本 正廣 全国町村議会議員会会長（広島県安芸太田町議会議員）
42	7.12.10	三議長会会長、「厚生年金への地方議会議員の加入を求める決議」について与野党に要請 本会の藏内勇夫会長（福岡県議会議員）など三議長会の会長が、「厚生年金への地方議会議員の加入を求める決議」について、要請活動を実施した。 <要請先>（順不同） 自由民主党 鈴木 英敬 総務部会長 鬼木 誠 厚生労働部会長 ※ 鈴木総務部会長への要請は、秘書を通じ決議を提出

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		立憲民主党 本庄 知史 政務調査会長 山花 郁夫 ネクスト総務・政治改革担当大臣 高松 智之 政務調査会長補佐 西川 厚志 政務調査会長補佐 <要請者> 藏内 勇夫 全国都道府県議会議長会会長（福岡県議会議長） 丸子 善弘 全国市議会議長会会長（山形市議会議長） 中本 正廣 全国町村議会議長会会長（広島県安芸太田町議会議長）
43	7.12.16	藏内会長、「国と地方の協議の場（令和7年度第3回）」に出席 東京・総理大臣官邸で開催され、本会からは藏内勇夫会長（福岡県議会議長）が出席した。 会議においては、「令和8年度予算編成及び地方財政対策等」について関係閣僚と協議し、藏内会長からは、①補正予算成立の御礼と早期執行に向けた地方議会の取組、②「強い経済」の実現に向けた各地域の取組に対する一層の支援、③ワンヘルスの取組に対する支援、④防災・減災・国土強靱化の強力な推進、⑤次期学習指導要領への「学校と議会が連携した主権者教育の推進」の明記、⑥厚生年金への地方議会議員の加入について発言した。 <政府出席者> 高市 早苗 内閣総理大臣 木原 稔 内閣官房長官 林 芳正 総務大臣 黄川田 仁志 内閣府特命担当大臣（地方創生）兼 地域未来戦略担当大臣

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		片山 さつき 財務大臣 小野田 紀美 外国人との秩序ある共生社会推進担当大臣 松本 洋平 文部科学大臣 鈴木 憲和 農林水産大臣 石原 宏高 環境大臣
44	7.12.22	第3回男女共同参画委員会 東京・都道府県会館において、対面出席とオンライン出席を併用するハイブリッド方式で開催した。最終回の委員会では、本委員会のテーマである「女性・若者が立候補しやすい方策」及び「女性・若手議員が働きやすい議会とする方策」に関する提言案について意見交換を行った。
45	7.12.26	地方六団体、「令和8年度地方財政対策についての共同声明」を発表 本会など地方六団体は、令和8年度地方財政対策が決定されたことを受け、「令和8年度地方財政対策についての共同声明」を発表した。
46	8.1.1	各都道府県議会議長、新年祝賀の儀に参列 東京・皇居において、新年祝賀の儀が執り行われ、本会からは議長10名が参列した。 なお、新年祝賀の儀には、高市早苗内閣総理大臣、衆参両院の議員、地方公共団体代表などが参列した。
47	8.1.19	安居男女共同参画委員長、藏内会長に提言を手交 東京・都道府県会館において、「男女共同参画委員会」による提言の手交式が開催され、安居知世男

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		女共同参画委員長（石川県議会議長）が藏内勇夫会長（福岡県議会議長）に提言を手交した。
48	8. 1. 19	役員会 東京・都道府県会館において、対面参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式で開催した。会議では、藏内勇夫会長（福岡県議会議長）のあいさつの後、安居知世男女共同参画委員会委員長（石川県議会議長）より、男女共同参画委員会提言について報告があった。 その後、1月21日に開催する第183回定例総会の日程、提出議案である令和8年度本会予算案について協議するとともに、令和8年度本会行事計画、標準都道府県議会会議規則の改正を決定した。 最後に、厚生年金への地方議会議員の加入、主権者教育の推進、令和8年度における本会のワンヘルスに関する取組について、事務局から報告し、閉会した。
49	8. 1. 19	第34次地方制度調査会が発足し、第1回総会に藏内会長が委員として出席 内閣総理大臣の諮問機関である第34次地方制度調査会が発足し、東京・総理大臣官邸において開催され、本会の藏内勇夫会長（福岡県議会議長）が委員として出席した。 総会では、高市早苗内閣総理大臣より、「人口減少により深刻化する人材の不足や偏在、デジタル技術の進展等の課題に対応し、将来にわたり、地域の特性に応じて、持続可能かつ最適な形で行政サービスを提供していくため、国・都道府県・市町村間の役割分担、大都市地域における行政体制その他の必要な地方制度の在り方について、調査審議を求める。」との諮問があった。 また、会長に市川晃住友林業株式会社代表取締役会長、副会長に谷口尚子慶應義塾大学教授が互選されるとともに、学識経験者からなる専門小委員会（委員長：山本隆司東京大学教授）が設置された。 藏内会長からは、九州の自立を考える会や九州地域戦略会議広域リージョン連携宣言、ワンヘルスに係る取組の紹介を交えて、国・都道府県・市町村間の適切な役割分担について、地方の実態に即し

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		た議論、行政課題の特性や業務の性質も踏まえた議論を求めた。また、大都市地域における行政体制については、全国それぞれの大都市で抱えている課題や他自治体との関係性などが異なることから、そうした個々の実情も念頭に置いた議論を求めた。
50	8. 1. 21	第183回定例総会 東京・都道府県会館において、対面参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式で開催した。 総会では、はじめに藏内勇夫会長（福岡県議会議長）のあいさつの後、来賓の林芳正総務大臣があいさつを述べた。 次に、新任正副議長を紹介した後、第182回定例総会の開催地である神奈川県議会の長田進治議長が御礼のあいさつを述べた。 続いて、安居知世男女共同参画委員会委員長（石川県議会議長）から、男女共同参画委員会提言について報告があった。 また、各議会における議員提案による政策条例制定に向けた議論を活性化させたいという藏内会長の考えのもと、香原勝司福岡県議会議員（前議長）から、福岡県議会における議員提案政策条例の取組について報告があった。 その後、議事に入り、令和8年度本会予算を決定した。 以上で総会の議事が終了し、厚生年金への地方議会議員の加入、主権者教育の推進、標準都道府県議会会議規則の改正、令和8年度における本会のワンヘルスに関する取組について、事務局から報告した。 続いて、原邦彰総務事務次官から、「持続可能な地方行財政のあり方」と題する講演を聴取した。 最後に、川嶋太郎愛知県議会議長より、アジア・アジアパラ競技大会の成功に向け取組への協力依頼に係る発言の後、閉会した。

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
51	8. 1. 29	第2回都道府県議会選挙区制度研究会 東京・都道府県会館において開催した。 第2回研究会では、ゲストスピーカーとして宍戸常寿東京大学大学院法学政治学研究科教授を招き、都道府県議会選挙区制度の課題と対応策について講演を聴取し、意見交換を行った。 また、報告書の構成案について意見交換を行った。
52	8. 2. 7	令和8年北方領土返還要求全国大会 本会など地方六団体は、北方領土返還要求運動連絡協議会及び内閣府との共催により、2月7日の「北方領土の日」に、東京・国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて開催した。 大会では、高市早苗内閣総理大臣、木原稔内閣官房長官、茂木敏充外務大臣、黄川田仁志内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）があいさつするとともに、元島民の方々等が発言した。 最後に、アピールを採択した。
53	8. 2. 18	地方六団体、「新内閣発足に当たっての共同声明」を発表 本会など地方六団体は、第2次高市内閣が発足されたことを受け、「第2次高市内閣発足に当たっての共同声明」を発表した。
54	8. 3. 3	藏内会長、自由民主党の幹事長、総務会長を表敬訪問 藏内勇夫会長（福岡県議会議長）は、自由民主党の鈴木俊一幹事長、有村治子総務会長を表敬訪問し、本会が取り組んでいる「ワンヘルスの推進」、「主権者教育の推進」、「多様な人材の地方議会への参画」等の諸課題に対し、引き続き協力を求めた。

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
55	8. 3. 19	主権者教育の実践事例動画「若者と議会をつなぐ対話のカタチ。」を公開 本会では、議会が主体となって行う主権者教育の推進の一環として、人気漫画『葬送のフリーレン』を活用した主権者教育用リーフレットを作成・配布している。 リーフレットの更なる効果的な活用を図るため、本年1月に富山県議会が高岡向陵高等学校で実施した「出前講座」をモデルに、事前準備から当日の授業、振り返りに至るまでの実践的なノウハウをまとめた動画を制作し公開した。
56	8. 3. 23	三議長会会長等、「厚生年金への地方議会議員の加入を求める決議」について中道改革連合等に要請 佐々木幸士副会長（宮城県議会議長）など三議長会の会長等が、「厚生年金への地方議会議員の加入を求める決議」について、要請活動を実施した。 <要請先>（順不同） 中道改革連合 階 猛 幹事長 参政党 安藤 裕 幹事長 ※ 秘書を通じ決議を提出し、後日、事務局から安藤幹事長に説明 チームみらい 高山 聡史 幹事長 古川 あおい 政務調査会長 <要請者> 佐々木 幸士 全国都道府県議会議長会副会長（宮城県議会議長） 丸子 善弘 全国市議会議長会会長（山形市議会議長）

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		松野 唱平 全国町村議会議長会副会長（千葉県長南町議会議長）
57	8. 3. 31	第 3 回都道府県議会選挙区制度研究会 東京・都道府県会館において開催した。 第 3 回研究会では、報告書について意見交換を行った。

事 務 局 関 係

(1) 会議の開催

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
1	令和7.4.10	全国都道府県議会事務局長会 東京・都道府県会館において、対面参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式で開催し、以下の講演を聴取するとともに、本会の取組や事務内容について説明を行った。 <演題及び講師> 「報道機関から見た地方議会の現状と課題」 株式会社時事通信社編集局内政部長 渡部 裕子 氏
2	7.4.17	第217回全国都道府県議会事務局職員研修会（総務・共済、議事新任関係） オンラインで開催し、講演を聴取した。 <演題及び講師> 「地方議会の役割と職員の職務、事務局職員として知っておきたいこと」 元埼玉県議会事務局長 下田 正幸 氏 「議会運営に係る基礎知識について～地方自治法、会議規則、委員会条例を中心に～」 全国都道府県議会議長会議事調査部副部長 久保 正行 氏
3	7.5.19	参与会 オンラインで開催し、5月26日開催の役員会の協議事項について協議した。
4	7.7.1	社会文教委員会正副委員長県事務局長会 オンラインで開催し、第181回定例総会に提出する議案の原案等について協議した。

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
5	7. 7. 1	経済産業環境委員会正副委員長県事務局長会 オンラインで開催し、第181回定例総会に提出する議案の原案等について協議した。
6	7. 7. 2	地方自治委員会正副委員長県事務局長会 オンラインで開催し、第181回定例総会に提出する議案の原案等について協議した。
7	7. 7. 2	国土交通委員会正副委員長県事務局長会 オンラインで開催し、第181回定例総会に提出する議案の原案等について協議した。
8	7. 7. 2	農林水産委員会正副委員長県事務局長会 オンラインで開催し、第181回定例総会に提出する議案の原案等について協議した。
9	7. 7. 9	参与会 オンラインで開催し、7月16日開催の役員会の協議事項について協議した。
10	7. 8. 28－29	第218回全国都道府県議会事務局職員研修会（議事・総務事務関係） 28日は東京・都道府県会館において講演及び都道府県議会の運営に係る2件の事例発表を、29日はオンラインで各都道府県議会事務局提出課題の研究討議を行った。 <講演> 「議会における個人情報保護について」 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授 湯浅 壘道 氏 <都道府県議会の運営に係る事例発表>

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		「百条委員会の設置と運営」 兵庫県議会事務局 「地方自治法第176条第4項・第5項に基づく再議及び審査申し立てへの対応について」 沖縄県議会事務局
11	7.10.6	経済産業環境委員会正副委員長県事務局長会 オンラインで開催し、第182回定例総会に提出する議案の原案等について協議した。
12	7.10.6	国土交通委員会正副委員長県事務局長会 オンラインで開催し、第182回定例総会に提出する議案の原案等について協議した。
13	7.10.7	地方自治委員会正副委員長県事務局長会 オンラインで開催し、第182回定例総会に提出する議案の原案等について協議した。
14	7.10.7	社会文教委員会正副委員長県事務局長会 オンラインで開催し、第182回定例総会に提出する議案の原案等について協議した。
15	7.10.7	農林水産委員会正副委員長県事務局長会 オンラインで開催し、第182回定例総会に提出する議案の原案等について協議した。
16	7.10.16	参与会 オンラインで開催し、10月23日開催の役員会の協議事項について協議した。

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
17	7. 11. 18	第219回全国都道府県議会事務局職員研修会（調査事務関係） 東京・都道府県会館において開催し、講演及び事例発表を聴取するとともにグループ演習を行った。 <演題及び講師> 「政策提案型議会への変革に向けた議員提案条例の議会事務局のサポート」 関東学院大学法学部地域創生学科教授 津軽石 昭彦 氏 <事例発表> 「埼玉県議会における議員提案政策条例の作成支援について～埼玉県特定再生資源屋外保管業の規制に関する条例～」 埼玉県議会事務局政策調査課主査 殿村 翔 氏 西岡 徹 氏 <グループ演習（条例作成について）> Ⅰ 事実からの政策形成 Ⅱ 条例立案（制度設計）
18	7. 12. 23	第55回議会運営等問題協議会 オンラインで開催し、産前産後期間に係る欠席届の対象を、産前6週間から産前8週間に改めることに対応した標準会議規則等の改正について協議した。
19	8. 1. 13	参与会 オンラインで開催し、1月19日開催の役員会の協議事項について協議した。

(2) ブロック議長会議への出席等

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
1	令和 7. 4. 22	13都道府県議会議長会議 福岡・ホテルオークラ福岡で開催された。 本会からは高原剛事務総長が出席し、地方自治法の改正と地方議会の活性化について説明を行った。
2	7. 5. 7	関東甲信越 1 都 9 県議会議長会 栃木・宇都宮東武ホテルグランデで開催された。 本会からは堀井徹議事調査部長が出席し、地方自治法の改正と地方議会の活性化について説明を行った。
3	7. 5. 20	北海道・東北六県議会議長会議 青森・ホテル青森で開催された。 本会からは高原剛事務総長が出席し、地方自治法の改正と地方議会の活性化について説明を行った。
4	7. 5. 22	四国 4 県議会正副議長会議 徳島・徳島グランヴィリオホテルで開催された。 本会からは岡裕二総務部長が出席し、地方自治法の改正と地方議会の活性化について説明を行った。
5	7. 5. 22	九州各県議会議長会議 鹿児島・鹿児島サンロイヤルホテルで開催された。 本会からは高原剛事務総長が出席し、地方自治法の改正と地方議会の活性化について説明を行った。

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
6	7. 5. 27	中国五県議会正副議長会議 山口・湯田温泉ユウベルホテル松政で開催された。 本会からは飯山尚人次長が出席し、地方自治法の改正と地方議会の活性化について説明を行った。
7	7. 6. 2	東海北陸 7 県議会議長会議 愛知・名古屋マリオットアソシアホテルで開催された。 本会からは飯山尚人次長が出席し、地方自治法の改正と地方議会の活性化について説明を行った。
8	7. 7. 7	北海道・東北六県議会事務連絡協議会（議事関係） 福島県議会で開催された。 本会からは久保正行議事調査部副部長が出席し、最近の地方議会をめぐる動きについて説明を行った。
9	7. 7. 29	愛媛県議会定数等調査特別委員会 愛媛県議会で開催された。 本会からはオンラインで堀井徹議事調査部長が出席し、都道府県議会議員の定数・選挙区における現状と課題について説明を行った。
10	7. 7. 30	九州各県議会事務局職員研修会 佐賀・ホテルグランデはがくれで開催された。 本会からは堀井徹議事調査部部長が出席し、最近の地方議会をめぐる動きについて説明を行った。

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
11	7. 8. 4	中国五県議会正副議長会議 広島・リーガロイヤルホテル広島で開催された。 本会からは高原剛事務総長が出席し、地方議会が抱える課題と全国都道府県議会議長会の取組について説明を行った。
12	7. 8. 7	近畿２府８県議会議長会議 奈良・ホテル日航奈良で開催された。 本会からは堀井徹議事調査部長が出席し、地方議会が抱える課題と全国都道府県議会議長会の取組について説明を行った。
13	7. 8. 7	九州各県議会議長会議 福岡・ホテル日航福岡で開催された。 本会からは高原剛事務総長が出席し、地方議会が抱える課題と全国都道府県議会議長会の取組について説明を行った。
14	7. 8. 18	中国四国九県議会正副議長会議 岡山・ホテルグランヴィア岡山で開催された。 本会からは高原剛事務総長が出席し、地方議会が抱える課題と全国都道府県議会議長会の取組について説明を行った。
15	7. 8. 20	四国４県議会正副議長会議 香川・JRホテルクレメント高松で開催された。

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		本会からは岡裕二総務部長が出席し、地方議会が抱える課題と全国都道府県議会議長会の取組について説明を行った。
16	7. 8. 26	北海道・東北六県議会議長会議 山形・ホテルメトロポリタン山形で開催された。 本会からは岡裕二総務部長が出席し、地方議会が抱える課題と全国都道府県議会議長会の取組について説明を行った。
17	7. 8. 26	関東甲信越 1 都 9 県議会議長会 神奈川・ロイヤルホールヨコハマで開催された。 本会からは今関安弘調査部長が出席し、地方議会が抱える課題と全国都道府県議会議長会の取組について説明を行った。
18	7. 8. 27	北海道・東北六県議会議員研究交流大会 山形・ホテルメトロポリタン山形で開催され、本会からは岡裕二総務部長が出席した。
19	7. 10. 8	大分県議会議長と市町村議会議長との意見交換会 大分・ホテル別府パストラルで開催された。 本会からは高原剛事務総長が出席し、地方議会における主権者教育について説明を行った。
20	7. 10. 27	長崎県議会議会運営委員会が来局 最近の地方議会をめぐる動き・課題、主権者教育、デジタル化、AIによる議事録作成・政策提案支

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		援、議員提案条例について調査するため本会事務局に来局し、堀井徹議事調査部長が説明を行った。
21	7.10.28	宮城県議会・市町村議会議員セミナー 宮城県庁で開催された。 本会からは堀井徹議事調査部長が出席し、地方議会議員の環境整備等（地方議会が抱える課題と全国都道府県議会議長会の取組）について説明を行った。
22	7.11.12	13都道府県議会議長会議 宮城・ホテルメトロポリタン仙台で開催された。 本会からは高原剛事務総長が出席し、地方議会が抱える課題と全国都道府県議会議長会の取組について説明を行った。
23	7.11.27	石川県内の女性議員による研修会 石川県議会で開催された。 本会からは堀井徹議事調査部長が出席し、地方議会における男女共同参画の課題と議会及び全国議長会の取組について説明を行った。
24	7.12.11	大分県議会議員定数調査会 大分県議会で開催された。 本会からは堀井徹議事調査部長が出席し、都道府県議会議員の定数・選挙区における現状と課題について説明を行った。

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
25	7.12.24	13都道府県議会事務協議会 千葉・ホテルポートプラザちばで開催された。 本会からは堀井徹議事調査部長が出席し、最近の地方議会をめぐる動きについて説明を行った。
26	8.1.22	東海北陸7県議会議長会議 オンラインで開催された。 本会からは岡裕二総務部長が出席し、地方議会を巡る最近の動向と全国都道府県議会議長会の取組について説明を行った。
27	8.1.22	福岡県議会議会運営委員会が来局 主権者教育等について調査するため本会事務局に来局し、堀井徹議事調査部長が説明を行った。
28	8.1.30	北海道・東北六県議会連絡協議会議（調査・図書関係） 福島県議会で開催された。 本会からは今関安弘調査部長が出席し、地方議会を巡る最近の動向と全国都道府県議会議長会の取組について説明を行った。
29	8.2.5	九州各県議会議員交流セミナー 熊本・熊本ホテルキャッスルで開催され、本会からは岡裕二総務部長が出席した。